維持管理計画書

- 1. 維持管理の基本的事項
 - ① 事業者名株式会社クリーンコーポレーション 代表取締役 久保政義
 - ② 施設の設置場所 山梨県北杜市高根町下黒沢字坂上27-7外1筆
 - ③ 保守点検責任者 株式会社クリーンコーポレーション 東京支店長 星光恒
 - ④ 事業区内の面積、発電出力(合計出力)12,941 m 990.0 KW (1,066.7 KW)
 - ⑤ 運転開始年月日2014年2月5日
 - ⑥ 維持管理の内容

(施設全般)

- ・定期的な点検により、不具合が発生している場合は修繕等を行い、施設が適正に 運転されている状態を維持する。
- ・遠隔監視等により異常を確認した場合は、対応できる体制を構築する。 (太陽光発電設備)
- ・運転に支障が生じるような変形がないことや設備損壊がないよう適正に管理する。 (付帯施設)
- ・側溝等が正常に機能する状態を維持する。 (事業区域)
- ・草刈り等を実施し事業区域内を適正な状態に維持する。
- ・土地の形質の変化がないか巡回を実施し確認し、必要に応じて修繕等を実施し保 全に努める。
- ・事業区域内の安全を維持するため、フェンスや監視装置が正常に機能しているか

を確認し保全に努める。

- ⑦ 損害保険の加入状況 損害保険ジャパン株式会社 企業総合補償保険(地震付保) (保険の内容)
 - ・建物・設備総合
- ⑧ 事業を廃止する際の対応

(廃止に要する費用の確保に関する対応)

- ・試算除去債務として認識
- ・費用は積立で対応 (太陽光発電設備の処分方法)
- ・産廃業者にて処分予定(廃止後の事業区域の利用計画)
- ・現状回復を予定

2. 維持管理の実施体制

・事業者 株式会社クリーンコーポレーション 代表取締役 久保政義 (連絡先) 011-551-3250



・保守点検責任者 株式会社クリーンコーポレーション東京支店 東京支店長 星光恒 03-5298-5451



・保守部署名 株式会社クリーンコーポレーション 山梨担当

080-2867-4758 警備部(監視)



- · 一般財団法人関東電気保安協会
- ・日本連合警備株式会社

)-1. 唯]寸旨生	97休可点恢复	日、万法及いての夫肔頻及~ヨ牡用		从快日	
NO 対	対象	点検箇所	点検項目	点検方法	点検終期	備考
		十四面池上	著しい汚れ、傷、破損がないか	目視	月1回	
		太陽電池モ	端子箱の破損、著しい変形がないか	目視	月1回	
		ジュール	フレームの破損、著しい変形がないか	目視	月1回	
		コネクタ	破損等がなく正常に接続されているか	目視	月1回	
. 7	太陽電池アレ	ケーブル	配線の異常がないか	目視	月1回	
1 4	スページ・E-10フェ イ	電線管	破損、変形がなく固定されているか	目視	月1回	
		接地線	接地線に異常がないか	目視	月1回	
		1女~巴柳	架台の変形や変質がないか	目視	月1回	
		架台	米日の交加(交貨がないが	口元	711日	
		ж н	固定強度に懸念がないか。ボルト等の緩みがないか	目視	月1回	
			著しい汚れ、傷、破損がないか	目視	月1回	
2 #	妾続箱	本体	固定ボルト等の緩みがないか	目視	月1回	
Z 13	1女形17日	本体				
-			コーキング等防水処理に異常がないか	目視	月1回	
3 源	屚電遮断機	本体	配線に著しい汚れ、破損がないか	目視	月1回	
\vdash		 	本体に著しい汚れ、変形、破損がないか	目視	月1回	
		排水溝	水路につまりがないか	目視	月1回	
4	非水設備		亀裂、破損がないか	目視	月1回	
			排水設備以外への漏水がないか	目視	月1回	
			著しい汚れ、破損がないか	目視	月1回	
			標識や危険看板等の落下がないか	目視	月1回	
E -		+4	入口の施錠や開閉に異常がないか	目視	月1回	
5 /	フェンス	本体				監視カメラにて24時間監視している。異常
			無断侵入者がいないか			があった場合には、現地警備会社のセキュ
						リティ要員が対応する
			周辺からの土砂の流入、堆積がないか	目視	月1回	7 7 2 3 2 3 7 3 7 5 7 5
*	進入路、管理 道	通路等	周辺への土砂の流出がないか	目視	月1回	
6						
Į.			雨水等により通路に異常がないか	目視	月1回	
\vdash			草木の繁茂の状態はどうか	目視	月1回	
			著しい汚れ、破損がないか	目視	月1回	
	ディショナー	本体	固定ボルト等の緩みがないか	目視	月1回	
			コーキング等防水処理に異常がないか	目視	月1回	
			設備室内の状況	目視	月1回	
			運転時の異常がないか			本社の自動監視モニターで管理している。
						異常時にはエラーメッセージを本社警備部
						で受信し対処している。状況に応じ関東電
						気保安協会やメーカーで対処する
7						温度異常時にはパワーコンディショナーが
			パワーコンディショナー接地場所の温度管理に異常			自動停止となる。本社警備部がエラーメッ
			はないか	目視	月1回	セーシを受信し、保安点検責任者に連絡し
			10.40 /3			復旧を図る
						本社の自動監視装置の異常時には本社シス
			パワーコンディショナー運転状況監視装置に異常は			テム要員で対処している。状況に応じメー
			ないか			
						カーで対処する
臣	監視装置	本体	設置設備に異常はないか			異常時にエラーメッセージを本社監視室で
	5-1		=0.99 /= B 25 / 1.4			感知し対処している
8 監	監視カメラ	カメラ	設置に異常はないか	目視	月1回	
						本社の自動監視モニターで管理している。
9 🤄	気象計設備	本体	設置設備に異常はないか	目視	月1回	異常時にはエラーメッセージを本社警備部
						で受信し対処している。状況に応じメー
						カーで対処する
		法面	段差が発生していないか	目視	月1回	
			排水溝の損傷がないか(側溝に異常がないか)	目視	月1回	
			法尻の崩壊がないか	目視	月1回	
			大量の湧水がないか	目視	月1回	
10 注	去面、擁壁				T	T
10 沍	去面、擁壁		亀裂、変形、破損がないか	目視	月1回	
10 ½	去面、擁壁	擁壁	亀裂、変形、破損がないか つなぎ目にずれがでていないか	目視 目視	月1回	
10 污	去面、擁壁	擁壁				
10 泫	去面、擁壁	擁壁	つなぎ目にずれがでていないか 水抜き穴から異常な土砂流出がないか	目視目視	月1回 月1回	
			つなぎ目にずれがでていないか 水抜き穴から異常な土砂流出がないか 周辺からの土砂の流入、堆積がないか	目視 目視 目視	月1回 月1回 月1回	
	去面、擁壁	擁壁 舗装なし	つなぎ目にずれがでていないか 水抜き穴から異常な土砂流出がないか	目視目視	月1回 月1回	

- ・台風、豪雨、土砂災害、地震等の災害には調査員の安全を確保しつつ、巡視を実施し対策を講じる。
- ・年1回の頻度で、草刈り、パネル洗浄をし景観維持に努める。
- ・年1回の頻度で、専門業者に依頼し保守点検設備不具合の特定調査を実施し対策を講じている。

会社名

点検日

年 月 日

T	T	T	1	点(火口	
対象	点検箇所	点検項目	点検方法	○か×を記入	備考
	太陽電池モ	著しい汚れ、傷、破損がないか			
		端子箱の破損、著しい変形がないか			
	ジュール	フレームの破損、著しい変形がないか			
	コネクタ	破損等がなく正常に接続されているか			
太陽電池アレ	ケーブル	配線の異常がないか			
イ					
	電線管	破損、変形がなく固定されているか			
	接地線	接地線に異常がないか 			
	架台	架台の変形や変質がないか			
		固定強度に懸念がないか。ボルト等の緩みがないか			
	本体	著しい汚れ、傷、破損がないか			
接続箱		固定ボルト等の緩みがないか			
		コーキング等防水処理に異常がないか			
	本体 排水溝	配線に著しい汚れ、破損がないか			
漏電遮断機		本体に著しい汚れ、変形、破損がないか			
		水路につまりがないか			
排水設備		1			
が 八成 畑					
		排水設備以外への漏水がないか			
		著しい汚れ、破損がないか			
		標識や危険看板等の落下がないか			
フェンス	本体	入口の施錠や開閉に異常がないか			
7177	本体				監視カメラにて24時間監視している。異常
		無断侵入者がいないか			があった場合には、現地警備会社のセキュ
					リティ要員が対応する
		周辺からの土砂の流入、堆積がないか			1 1 1 2020 1 7 7 0
進入路、管理		周辺への土砂の流出がないか			
	通路等				
道		雨水等により通路に異常がないか			
		草木の繁茂の状態はどうか			
		著しい汚れ、破損がないか			
	本体	固定ボルト等の緩みがないか			
		コーキング等防水処理に異常がないか			
		設備室内の状況			
		運転時の異常がないか			本社の自動監視モニターで管理している。
					異常時にはエラーメッセージを本社警備部
					で受信し対処している。状況に応じ関東電
パワーコン					気保安協会やメーカーで対処する
ディショナー					
					温度異常時にはパワーコンディショナーが
		パワーコンディショナー接地場所の温度管理に異常は			自動停止となる。本社警備部がエラーメッ
		ないか			セーシを受信し、保安点検責任者に連絡し
					復旧を図る
		 パワーコンディショナー運転状況監視装置に異常はな			本社の自動監視装置の異常時には本社シス
					テム要員で対処している。状況に応じメー
		いか			カーで対処する
					異常時にエラーメッセージを本社監視室で
監視装置	本体	設置設備に異常はないか			感知し対処している
監視カメラ	カメラ	設置に異常はないか			
III 1707 7 7		DE 1-2011 10: 01 10			本社の自動監視モニターで管理している。
	本体				異常時にはエラーメッセージを本社警備部
気象計設備		設置設備に異常はないか			
					で受信し対処している。状況に応じメー
	法面	7. ¥ / 37. 4. 1 1 1			カーで対処する
		段差が発生していないか			
		排水溝の損傷がないか(側溝に異常がないか)			
		法尻の崩壊がないか			
法面、擁壁		大量の湧水がないか			
		亀裂、変形、破損がないか	<u></u>	<u> </u>	
		つなぎ目にずれがでていないか			
		水抜き穴から異常な土砂流出がないか			
	舗装なし	周辺からの土砂の流入、堆積がないか			
接地地番		周辺への土砂の流出がないか	+		
, A - D - D H	HIII 2X O U	草木の繁茂の状態はどうか		+	
特記事項		干小ツ糸以ツ叭心はし ノガ	1	I	

特記事項

- ・台風、豪雨、土砂災害、地震等の災害には調査員の安全を確保しつつ、巡視を実施し対策を講じる。
- ・年1回の頻度で、草刈り、パネル洗浄をし景観維持に努める。
- ・年1回の頻度で、専門業者に依頼し保守点検設備不具合の特定調査を実施し対策を講じている。

4.太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容及びその実施体制

気象情報を常に意識し、現場の巡視及び以下の点検や対策を講じ、被害を未然に防止することで、施設の安定的な運用に努める。

(確認項目)

- ① 台風(強風)による飛散
 - ・太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと及び基礎等に強度が不足するような劣化がないことを3.維持管理の保守点検項目に従い巡視を実施
 - ・周辺残地物の飛散により設備が破損しないよう措置
 - (ア) ボルトの増し締めによる対応
 - (イ) 劣化が著しい設備の事前撤去等
 - (ウ) 周辺環境の整備
- ② 豪雨(洪水)による水害
 - ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、3.維持管理の保守点検項目に 従い巡視を実施
 - (ア) 堆積土砂の除去等、排水機能の確保
 - (イ) 法面保護、土嚢の設置等
- ③ 土砂災害
 - ・排水機能に異常がないか、3.維持管理の保守点検項目に従い巡視を実施
 - (ア) 堆積土砂の除去等、排水機能の確保
 - (イ) 法面保護、土嚢の設置等
- ④ 地震による倒壊等
 - ・太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと及び基礎等に強度が不足するような劣化がないことを3.維持管理の保守点検項目に従い巡視を実施
 - (ア) ボルトの増し締めによる対応
 - (イ) 劣化が著しい設備の事前撤去等
- ⑤ 豪雪による倒壊等
 - ・太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと及び基礎等に強度が不足するような劣化がないことを3.維持管理の保守点検項目に従い巡視を実施
 - (ア) ボルトの増し締めによる対応
 - (イ) 劣化が著しい設備の事前撤去等
- ⑥ 実施体制
 - 2.維持管理の実施体制と同様

⑦災害対策組織図

・事業者 株式会社クリーンコーポレーション 代表取締役 久保政義 (連絡先)

011-551-3250



・災害対策責任者 株式会社クリーンコーポレーション 専務取締役 山本英喜

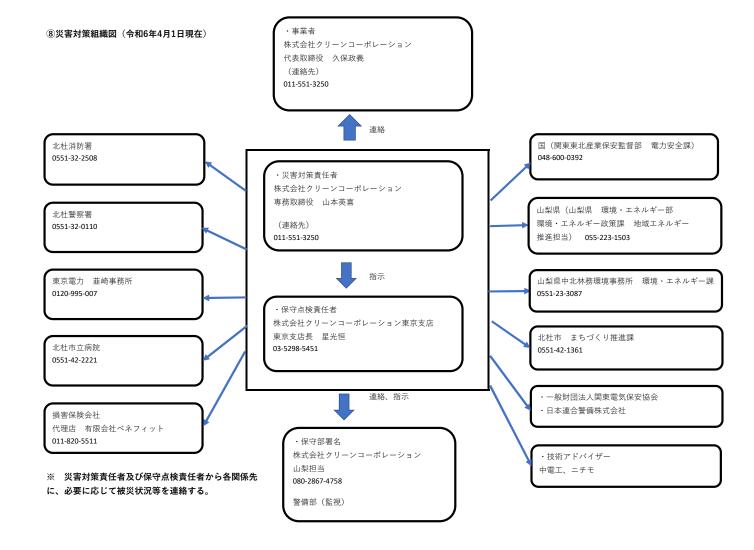
(連絡先)

011-551-3250

・保守点検責任者 株式会社クリーンコーポレーション東京支店 東京支店長 星光恒 03-5298-5451 ・保守部署名 株式会社クリーンコーポレーション 山梨担当 080-2867-4758 警備部(監視)

·一般財団法人関東電気保安協会

・日本連合警備株式会社



5.土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が発生し、又は周辺地域の環境の保全上の支援が生じた場合に予定している措置の内容及びその実施体制

(災害発生時対応事項)

初動体制	事故・災害が発生した際、迅速に状況を把握し災害対策組織図により対応 を協議し、災害発生時連絡体制表により関係する期間に連絡する
応急措置・二次災害防	土砂流失やパネルの飛散等周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤
止対策	去し二次災害が起きないよう対策を講じる
復旧措置	応急措置後、復旧までの工程表を作成し、速やかに復旧作業を行う
再発防止対策等の対応	事故原因の究明及び現状の維持管理状況を分析し、再発防止のため維持管
計画	理計画を再検討する

※事業地に災害が発生していない場合でも、異常気象後は速やかに施設を確認し、必要な 対策を講じる。